

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL NEWS

No.ASSP-11-0306

M66591GP DMA 転送ご使用に関する制限事項

分	<input type="checkbox"/> ドキュメント正誤表 <input checked="" type="checkbox"/> 注意事項 <input type="checkbox"/> ノウハウ	対	USB ASSP M66591GP
類	<input type="checkbox"/> その他	象	

1. 現象

下記の発生条件を満たした時、DMA リードデータが不正になります。

2. 発生条件

下記①と②の条件を同時に満たした場合、上記1の現象が発生します。

①「データピン&FIFO/DMA 制御ピンコンフィギュレーションレジスタ 2」の RWstb ビットが"0"、DackE ビットが"1"の設定。

②

a) セパレートバス設定のとき (MPBUS 端子が"L"レベル固定)

DMAC リードアクセス中 (DACK がアクティブ中かつ、RD_N が"L"レベル) のアドレス値 (A7-1) が H'14 番地または H'16 番地を指している場合。

b) マルチプレクスバス設定のとき (MPBUS 端子が"H"レベル固定)

ALE によって最後にラッチされたアドレス値 (A7-1) が H'14 番地または H'16 番地を指している場合。

なお、DMA によるライト及びスプリットバスを経由した DMA リード/ライトではこの現象が発生しません。

3. 回避方法

a) セパレートバス設定のとき (MPBUS 端子が"L"レベル固定)

上記発生条件の①にて DMA リードする場合には、DMAC リードアクセス中 (DACK がアクティブ中かつ、RD_N が"L"レベル) のアドレス値 (A7-1) が H'14 番地及び H'16 番地にならないように制御してください。

b) マルチプレクスバス設定のとき (MPBUS 端子が"H"レベル固定)

上記発生条件の①の設定による DMA リードを行わないでください。

以上